

認 定 書

国 住 指 第 1508 号
令和元年 9 月 17 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣

赤羽



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

QM-0966

2. 認定をした構造方法等の名称

合成樹脂系粉粒壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

合成樹脂系粉粒壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平面 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	5.0 _{+0.5} 以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	1000.0 _{±100.0} 以下

3. 材料構成

項 目	仕 様
表面化粧材	<p>合成樹脂系粉粒張壁紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ5.0_{+0.5}mm以下 ・質量1000.0_{±100.0}g/m²以下(有機質量180.0_{±18.0}g/m²以下) ・構成： <ul style="list-style-type: none"> [1]化粧：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) 合成樹脂 <ul style="list-style-type: none"> ・質量650.0_{±65.0}g/m²(固形量)以下(有機質量10.0_{±1.0}g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂※¹、天然樹脂※²10.0_{±1.0} (但し、ポリエステル系を含む場合は8.0_{±0.8}以下、 ポリエチレン系を含む場合は5.0_{±0.5}以下とする) 有機質系顔料※³、有機質系添加剤※⁴10.0_{±1.0} 合成樹脂インキ※⁵10.0_{±1.0} 無機質系充てん材、無機質系顔料※⁶0～600.0_{±60.0} 無機質系添加剤※⁷0～40.0_{±4.0} (2) なし [2] 主素材：(1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> (1) 合成樹脂系粉粒（[1]化粧が(2)の場合に限る） <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ4.5_{±0.5}mm以下 ・質量200.0_{±20.0}g/m²以下(有機質量100.0_{±10.0}g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂※¹系粉粒 20.0_{±2.0}～90.0_{±9.0} (但し、合成樹脂として <ul style="list-style-type: none"> ポリエステル系を含む場合は16.0_{±1.6}～72.0_{±7.2}、 ポリエチレン系を含む場合は10.0_{±1.0}～45.0_{±4.5}とする) 植物系粉粒※⁸ 0～45.0_{±4.5} 無機質系粉粒※⁹ 0～45.0_{±4.5} 合成樹脂※¹、天然樹脂※² 10.0_{±1.0}～80.0_{±8.0} (但し、合成樹脂として <ul style="list-style-type: none"> ポリエステル系を含む場合は8.0_{±0.8}～64.0_{±6.4}、 ポリエチレン系を含む場合は5.0_{±0.5}～40.0_{±4.0}とする)

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>有機質系顔料^{※3}、有機質系添加剤^{※4} 0～9.0_{±0.9} 無機質系充てん剤、無機質系顔料^{※6} 0～50.0_{±5.0} 無機質系添加剤^{※7} 0～5.0_{±0.5} (但し、合成樹脂系粉粒が、合成樹脂系粉粒・植物系粉粒・無機質系粉粒の合算値の50%を超えること。)</p>
	<p>(2) 合成樹脂系粉粒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ4.5_{±0.45}mm以下 ・質量182.0_{±18.2}g/m²以下(有機質量88.0_{±8.8}g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}系粉粒 20.0_{±2.0}～78.0_{±7.8} (但し、合成樹脂として ポリエステル系を含む場合は16.0_{±1.6}～62.4_{±6.2}、 ポリエチレン系を含む場合は10.0_{±1.0}～39.0_{±3.9}とする) 植物系粉粒^{※8} 0～39.0_{±3.9} 無機質系粉粒^{※9} 0～39.0_{±3.9} 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} 10.0_{±1.0}～68.0_{±6.8} (但し、合成樹脂として ポリエステル系を含む場合は8.0_{±0.8}～54.4_{±5.4}、 ポリエチレン系を含む場合は5.0_{±0.5}～34.0_{±3.4}とする) 有機質系顔料^{※3}、有機質系添加剤^{※4} 0～9.0_{±0.9} 無機質系充てん剤、無機質系顔料^{※6} 0～50.0_{±5.0} 無機質系添加剤^{※7} 0～5.0_{±0.5} (但し、合成樹脂系粉粒が、合成樹脂系粉粒・植物系粉粒・無機質系粉粒の合算値の50%を超えること。)
	<p>(3) 合成樹脂系粉粒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ4.5_{±0.45}mm以下 ・質量167.0_{±16.7}g/m²以下(有機質量78.0_{±7.8}g/m²以下) ・構成(g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}系粉粒 20.0_{±2.0}～68.0_{±6.8} (但し、合成樹脂として ポリエステル系を含む場合は16.0_{±1.6}～54.4_{±5.4}、 ポリエチレン系を含む場合は10.0_{±0.5}～34.0_{±3.4}とする) 植物系粉粒^{※8} 0～34.0_{±3.4} 無機質系粉粒^{※9} 0～34.0_{±3.4} 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} 10.0_{±1.0}～58.0_{±5.8} (但し、合成樹脂として ポリエステル系を含む場合は8.0_{±0.8}～46.4_{±4.6}、 ポリエチレン系を含む場合は5.0_{±0.5}～29.0_{±2.9}とする) 有機質系顔料^{※3}、有機質系添加剤^{※4} 0～9.0_{±0.9} 無機質系充てん剤、無機質系顔料^{※6} 0～50.0_{±5.0} 無機質系添加剤^{※7} 0～5.0_{±0.5} (但し、合成樹脂系粉粒が、合成樹脂系粉粒・植物系粉粒・無機質系粉粒の合算値の50%を超えること。)

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(4) 合成樹脂系粉粒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ 4.5 ± 0.45 mm以下 ・ 質量 155.0 ± 15.5 g/m²以下 (有機質量 70.0 ± 7.0 g/m²以下) ・ 構成 (g/m²) <ul style="list-style-type: none"> 合成樹脂^{※1}系粉粒 $20.0 \pm 2.0 \sim 60.0 \pm 6.0$ (但し、合成樹脂として <ul style="list-style-type: none"> ポリエステル系を含む場合は $16.0 \pm 1.6 \sim 48.0 \pm 4.8$、 ポリエチレン系を含む場合は $10.0 \pm 1.0 \sim 30.0 \pm 3.0$ とする) 植物系粉粒^{※8} $0 \sim 30.0 \pm 3.0$ 無機質系粉粒^{※9} $0 \sim 30.0 \pm 3.0$ 合成樹脂^{※1}、天然樹脂^{※2} $10.0 \pm 1.0 \sim 50.0 \pm 5.0$ (但し、合成樹脂として <ul style="list-style-type: none"> ポリエステル系を含む場合は $8.0 \pm 0.8 \sim 40.0 \pm 4.0$、 ポリエチレン系を含む場合は $5.0 \pm 0.5 \sim 25.0 \pm 2.5$ とする) 有機質系顔料^{※3}、有機質系添加剤^{※4} $0 \sim 9.0 \pm 0.9$ 無機質系充てん剤、無機質系顔料^{※6} $0 \sim 50.0 \pm 5.0$ 無機質系添加剤^{※7} $0 \sim 5.0 \pm 0.5$ <p>(但し、合成樹脂系粉粒が^{※5}、合成樹脂系粉粒・植物系粉粒・無機質系粉粒の合算値の50%を超えること。)</p>
	<p>[3] 裏打材^{※10} : (1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする。</p> <p>(1) 裏打紙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚さ 0.5 ± 0.05 mm以下 ・ 質量 150 ± 15.0 g/m²以下 (有機質量 80.0 ± 8.0 g/m²以下) ・ 構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 有機繊維^{※11} 80.0 ± 8.0 以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は 19.2 ± 1.9 以下とし、かつ有機質量を 64.0 ± 6.4 以下とする。) ② 合成樹脂^{※1} 10.8 ± 1.1 以下 有機繊維^{※11} 57.0 ± 5.7 以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を 58.0 ± 5.8 以下とする。有機繊維^{※11}として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は $1.0 \pm 0.1 \sim 20.6 \pm 2.1$ とする。) <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 無機質系充てん材、無機質系顔料^{※6} $0 \sim 120 \pm 12.0$ ② なし

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(2) 裏打紙</p> <p>([2] 主素材が (2) で且つ [1] 化粧が (2) の場合、又は [2] 主素材が (3) の場合に限る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 0.5 ± 0.05 mm以下、質量 150 ± 15.0 g/m²以下 (有機質量 92.0 ± 9.2 g/m²以下) ・構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>①有機繊維^{※11} 92 ± 9.2 以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は 21.9 ± 2.2 以下とし、かつ有機質量を 73.0 ± 7.3 以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} 12.5 ± 1.3 以下 有機繊維^{※11} 66.0 ± 6.6 以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を 67.0 ± 6.7 以下とする。有機繊維^{※11}として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は $1.0 \pm 0.1 \sim 24.0 \pm 2.4$ とする。)</p> </div> </div> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>①無機質系充てん材、無機質系顔料^{※6} $0 \sim 120 \pm 12.0$</p> <p>②なし</p> </div> </div>
	<p>(3) 裏打紙 :</p> <p>([2] 主素材が (3) で且つ [1] 化粧が (2) の場合、又は [2] 主素材が (4) の場合に限る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 0.5 ± 0.05 mm以下、質量 150 ± 15.0 g/m²以下 (有機質量 100.0 ± 10.0 g/m²以下) ・構成 (g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>①有機繊維^{※11} 100 ± 10.0 以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は 24.0 ± 2.4 以下とし、かつ有機質量を 80.0 ± 8.0 以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} 13.6 ± 1.4 以下 有機繊維^{※11} 72.0 ± 7.2 以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を 73.0 ± 7.3 以下とする。有機繊維^{※11}として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は $1.0 \pm 0.1 \sim 26.2 \pm 2.6$ とする。)</p> </div> </div> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>①無機質系充てん材、無機質系顔料^{※6} ... $0 \sim 120 \pm 12.0$</p> <p>②なし</p> </div> </div>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>※1：合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルコキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、アクリル樹脂系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系、ワックス系、ニトロセルロース系、エチレン・グリコール系、マレイン酸系、ポリエチレン系、ポリビニルアルコール系、ビニリデン系、ナイロン系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2：天然樹脂は、セラック系、ロジン系、ワニス系、澱粉系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3：有機質系顔料とは、アゾ系、フタロシアニン系、縮合多環系、合成樹脂※1のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4：有機質系添加剤は、発泡剤（アゾジカルボナミド系、メチルセレンソルホニルヒドrazid系）、防かび剤、有機系機能性材料剤、のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※5：合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレン・グリコール系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※6：無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、硝酸亜鉛、シリカ、珪藻土、金属粉（アルミニウム）、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7：無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8：植物系粉粒は、木粉、藁、木毛、白木、イグサ、セルロースのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9：無機質系粉粒は、シリカ、ひる石、セオライト、珪藻土、マイカ、ガラス、クレー、炭酸カルシウム、セラミック、アルミニウム、錫、銅、亜鉛、鉄、銀、白金、金、軽石、パーライト、水酸化カルシウム、鉍物粒及び鉍物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※10：裏打材は、紙、無機質紙、不織布（non woven paper）のいずれかとする。</p> <p>※11：有機繊維は、パルプ、綿、麻、レーヨン、スフ、キュプラ、アセート、セルロース系繊維、合成樹脂系繊維※11のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※12：合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリビニルアルコール、ポリウレタンのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする</p> <p>1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ 以下) ・構成 以下の [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1] でん粉系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $60_{\pm 6}\text{g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> でん粉のり $80_{\pm 2}$ 以上 補強剤※13 $20_{\pm 2}$ 以下 (又は補強剤なし) [2] シーラー：合成樹脂※14 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ 以下) <p>2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下) ・構成 以下の [1] 又は [1] と [2] を組合せた仕様とする <ul style="list-style-type: none"> [1] メチルセルロース系接着剤 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機量 $40_{\pm 4}\text{g/m}^2$ 以下) ・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> メチルセルロース $80_{\pm 2}$ 以上 補強剤※13 $20_{\pm 2}$ 以下 (又は補強剤なし) [2] シーラー：合成樹脂※14 <ul style="list-style-type: none"> ・質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量 $10_{\pm 1}\text{g/m}^2$ 以下) <p>※13：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする</p> <p>※14：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成12年建設省告示第1401号第1第二号から第六号に例示された準不燃材料及び告示第1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

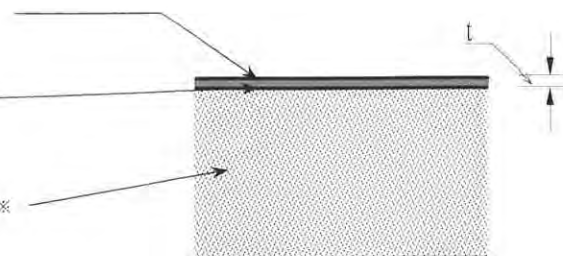
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

1) 表面化粧材：合成樹脂系粉粒張壁紙

2) 接着剤及びシーラー

3) 基材：準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く）※



$t = 8.0$ 以下

※平成12年の建設省告示第1400号に例示された不燃材料のうち、すでに化粧を施されたもの及び鉄鋼、アルミニウム、金属板を除くもの